

津軽地域の鳥居の上にいる鬼のなぞ

津軽と鬼伝説②



弘前市撫牛子(ないじょうし)にある撫牛子八幡宮の鳥居にいる鬼コです。撮影時期が冬ということもあり、寒いなかでしたが、どっしり構えて、しっかり見守ってくれている印象を受けます。鬼と言えば怖い顔を連想しがちですが、笑顔で愛嬌があるのも特徴です。他の鳥居の鬼コもそれぞれ個性と愛嬌があるので、皆さんも探してみてください。



津軽地域の神社には、鳥居に鬼の像(以下、鬼コ)がのっている神社があります。加藤慶司氏の調査によると、弘前市撫牛子にある初代の鬼コは、明治初年に高山玄南(玄南和尚)によって作成されたそうです。初代とするのは火事で焼失してしまったため、現在挙がっているものは初代を模倣して作られたものだそうです。鬼コは魔除けのために氏子であげたもので、その後、評判となり津軽各地の神社に魔除けとして広がっていきます。元々、鳥居には鬼板と呼ばれる瓦に鬼の顔をデザインしたものを載せる風習があり、鬼コはこれの代わりにのせたとされています。

鬼コは、国宝である「六道絵図」や「地獄絵図」で描かれる地獄の鬼や能で使用される面の一種である「鬼面」などと比較すると、鬼の特徴である角が短いです。短い正確な理由はわかっていないようです。しかしながら、車力村(現つがる市車力)に伝わる話のなかで、鬼が村を守るといった善行を積むことで角が短くなるという話があることから、関連性があるのではと考えられます。

津軽地域各地にある鳥居の鬼コは、2022年に、青森県庁が、鳥居の鬼コのある神社周辺のお店等に設置した「津軽の鳥居の鬼コカード」を集める企画を実施し話題となりました。

最近の葬儀の形について

新型コロナウイルス感染症の影響は葬儀にも出ており、葬儀の場でも、「うつらない」「うつさない」ための対策が取られています。

- ・葬儀のご案内を控え、参列者数をできるだけ減らす。
- ・特に遠方の方は、無理なさないようにしていただく。
- ・死亡広告は、葬式が済んでから掲載すること多い。
- ・会場では検温や手指の消毒を行う。
- ・席の間隔を空け、密の状態を避ける。
- ・一般会葬者向けの焼香時間を設け、その後お帰りいただく。
- ・葬式後の会食は行わず、折詰やお弁当をお渡しして解散する。

- 「コープ葬」の流れ、万が一の時は：
- ①まずは、コープ葬祭センター0120-16-1812に、お電話ください。葬儀の受付は24時間・年中無休です(その日のお問い合わせ等は月・金曜日の9時17時に受付しております)。
 - ②御遺体をお迎えにうかがい、ご希望の安置場所にご搬送いたします。
 - ③ご安置の後、提携葬儀社の担当者と生協の葬祭担当者がうかがい、ご葬儀の日程や内容について打合せを行います。
 - ④打合せで決められた日程・内容に沿って、ご葬儀を施行いたします。



- 葬儀に備える事前の積立 「まごころ積立」
- ・生協の登録口座から、毎月5日に引落しの形で積み立てていただきます。
 - ・毎月の積立額は1,000円から可能で、1,000円単位で自由に決められます。
 - ・1口12万円から最高10口120万円までの間で、積立の目標額を設定していただきます。毎月の積立額および目標口数は、途中でも変更ができます。
 - ・積み立てた分は、コープ葬の代金に充当できます。
 - ・「まごころ積立」ご参加の方には、以下の特典がございます(「コース」以外のご葬儀は除きます)。
 - ①コース基本料金から2%割引
 - ②香典返し品の代金から5%割引
 - ③一周忌に花瓶用の生花1対を無料でお届け

万が一の時、悔いを残さない為に「コープ葬」・「まごころ積立」と事前相談について

葬儀に備える事前の積立

「まごころ積立」

事前相談を

おすすめします

いざ葬儀となると、短時間のうちに様々なことを決めなければなりません。悔いのないご葬儀のために、葬儀に対する不安や疑問を事前相談で解消しておきませんか?ご自宅にコープ葬祭センターの担当者がうかがい、ご相談をお受けいたします。直接お会いしてご相談いただいた方には、「エンディングノート」をプレゼントいたします。お問い合わせ・お申込みは、コープ葬祭センターまでお気軽にどうぞ。



＜「つどい」での葬祭学習会の模様＞
ご質問やご相談にも応じておりますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

葬儀のお困りごと、
ご相談は、
コープ葬祭センターまで
フリーダイヤル
0120-
16-1812

(葬儀の受付は24時間・年中無休。
お問い合わせは月曜日～金曜日の
9時～17時にご対応いたします。)